事業所名：グループホームいたや荘

作成日：　平成　23年　11月　15日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域近隣の方々とのふれあいと地域活動に参加する機会が少ない。	利用者が地域とつながりながら暮らし続けることができる。	①運営推進会議の中で話題に出したり、広報だよりから地域活動の情報を集めて行く。 ②集めた情報から、利用者が興味をもったものに参加する。 ③近隣の小学校児童の写生大会の時に立ち寄って頂くように学校側に声を掛けていく。 ④隣のリンゴ畑で作業している方に立ち寄って頂けるように声をかけていく。 ⑤回覧板を利用者と一緒に回す。 ⑥老人会、婦人会、ご近所の方に気軽に立っ寄って頂けるように声を掛けていく。	12か月
2	35	職員が、避難誘導経路、非常用放送設備と消火用散水栓の取り扱い等の周知がされていない	1.職員が避難誘導する経路のイメージができる 2.職員が非常用放送設備の操作ができる	1-①毎月、職員会議の時に、避難誘導経路をシュミレーションしていく。 1-②年間に行う避難訓練の際、消防署と連携を図り、2階、3階西側のベランダを想定した避難訓練を行う。 2-①毎月、職員会議の時に、非常用放送設備の操作、消火用散水栓の手順をシュミレーションしていく。	12か月
3					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。